

日本音楽教育メディア学会
(JAPANESE MEDIA SOCIETY FOR MUSICAL EDUCATION)

JMSME News Letter

2014.10 vol.01

発行：平成26年10月13日（月）
日本音楽教育メディア学会事務局
〒284-8567 千葉県佐倉市山王1-9
千葉敬愛短期大学谷中研究室
jmsme2014@yahoo.co.jp
043-986-9560

ご祝辞

Boyko STOYANOV

皆様、日本音楽教育メディア学会の設立を心よりお祝い申し上げます。新しい研究団体の誕生は、それだけでも大変意義あるものです。その上に会員相互の研究を持ちより、より高めていくことができればと思います。高めるとはプロフェッショナルなテーブルについて、創造的な研究活動を続けていくということです。さらにもっと広く他の研究者や研究団体、あるいは例えば子どものいる学校や市民団体などと、様々な形で、福祉や芸術活動も含めた、一人間対人間としての交流を深めて頂ければ幸いです。貴会の益々のご発展と皆様のご健康をお祈り致します。



平成26年10月吉日 慕井湖

ご挨拶

会長 谷中優

秋の気配を感じる季節になりました。皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて去る6月28日、学会設立準備委員会において本会設立が満場一致で可決され、ここに「日本音楽教育メディア学会」が正式設立となりました。同日、第一回総会を無事終了致しましたことを、まず皆様にご報告申し上げます。

本会は音楽教育と関連する様々なメディアを含めた複眼的研究を目指すものであります。つまり音楽が関わるあらゆるメディア（言葉、文字、身体、絵画や写真、楽器、ICT等）をその研究の対象といたします。多くの教科等との協働的活動の可能性を有していることで、本会は音楽教育が関わる他教科・他領域等との協働的活動を積極的に推進するものであります。

最後に皆様のご健康と本会の発展を祈念致しましてご挨拶と致します。

平成26年10月吉日

記事内容

- ・ご祝辞
- ・ご挨拶
- ・研究会、論文募集について
- ・役員紹介
- ・顧問、特別会員紹介
- ・会費について
- ・入会申込書未提出の方へ
- ・事務局より



《研究会・論文募集のお知らせ》

■来年2月または3月の週末を用い、本学会初の研究会を開催します。より参加人数の多い日を選ばせて頂きますので、参加をご希望の方は以下からご都合のよろしい日時をお選びください。また発表ご希望の方は申込書及び発表用紙(フォーマット)を事務局にご請求ください。ご返信は2014年10月21日までに、本学会メールアドレス(jmsme2014@yahoo.co.jp)にお送りくださいますよう、お願いいたします。

予定日 2015年2月14日(土)、15日(日)、21日(土)、22日(日)

■本年度の学会論集に掲載の論文を募集します。締め切りは来年2月末日。執筆申し込みは10月31日締め切りとさせていただきます。申込書あり。詳細は事務局にメールにてお問い合わせください。

<役員紹介>

会長/谷中 優(作曲、音楽教育)

副会長/田村幸雄(前学会副会長、厚木市教育研究所)

小林田鶴子(前学会理事、音楽教育)

事務局/鈴木 佑未子(ピアノ、箏、音楽教育)

持田京子(保育学、音楽教育)

会計/林 麻由美(ピアノ)、鎌田 千佳(ピアノ)

学会員の皆様にとってより良い研究の場になり得るよう努めてまいりますので、よろしくお願ひいたします。



会費について

年会費 7,000 円

入会后、下記のどちらか宛にお納めください。

<<振込先①>>

ゆうちょ銀行 10510-91267401

ニホンオンガクキョウイクメディアガッカイ

<<振込先②>>

みずほ銀行 亀有支店(店番178)

(普)1293675

日本音楽教育メディア学会会長 谷中優

※入会申込書未提出の方、申込書をお持ちでない方は、事務処理の関係上至急事務局あてにメールにてご連絡ください。申込書を送付いたします。またお持ちの方は、郵送もしくは添付ファイルでお送りください。よろしくお願ひいたします。

<顧問、特別会員ご紹介>

八木ヨシオ(石彫家)氏 (顧問)

氏は日本コンピュータ音楽教育学会主催「コンピュータと子ども・音楽創作コンペ」の美術系審査員として12年間の責務を全うした。美術教育にも深い関心を持ち、前の学会においては、特に子どものマルチメディア作品について、多くの建設的な助言や提言によって音とビジュアルの交わる方向性を示唆している。彫刻家としての氏は国内外において活発な創作活動を継続している。

美術評論家・竹田直樹著「八木ヨシオの彫刻コミュニケーション もうひとつのアート論」(マルモ出版)や谷中の「石彫家・八木ヨシオの作品について-作曲家の立場からの考察-」(金沢星稜大学人間科学研究)等のように、八木をテーマにした現代美術論が散見している。

Boyko STOYANOV(ボイコ・スチャーノフ)氏 (特別会員)

氏はブルガリアの作曲家・ピアニスト・指揮者、また音楽教育家でもある。前学会の会員であった。受賞は多く、ブルガリア国内民族音楽コンクール入賞(声楽)、ヴェルナ賞(ブルガリア)、ポーランド作曲コンクール入賞、ワールド・インテレクチュアル賞、ゴールドレコード賞、フランス国際電子音楽コンクール入賞、名誉博士号(音楽/イギリス)、名誉博士号(哲学/オーストラリア、ドイツ)、ナイトの称号など40を越える受賞がある。現在、日本にも居を構え、日本国内をはじめヨーロッパ各国やアメリカなどで活発な演奏・作曲・指揮(ブラジル・バイーヤ州立管弦楽団客演指揮者)活動を継続している。

(文・谷中)

事務局より

本学会設立より2か月が経ち、ようやく初号のニュースレターを発行するに至りました。編集者の不慣れ故、会員の皆様方を長らくお待たせいたしましたことを深くお詫び申し上げます。今後、ニュースレターに、会員の皆様の活動やお知らせ等を掲載してまいりたいと思います。掲載ご希望の方は、学会宛(jmsme2014@yahoo.co.jp)ご連絡ください。よろしくお願ひいたします。

鈴木佑未子、持田京子